



青森河川国道ニュース

お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577



ご意見は
こちらまで



震災伝承施設見学



若手勉強会+青函交流会

東日本大震災
津波伝承館



津波てんでんこの話を聞いている様子



釜石市からハワイ
まで約6,300km
流されたディリニ
エーター

いのちをつなぐ
未来館



被災前



被災後

令和5年10月26日(木)~27日(金)、主に岩手県沿岸部において、北海道開発局との若手職員による交流を兼ねた震災伝承を行いました。

震災伝承は1泊2日で行われ、1日目に東日本大震災津波伝承館(陸前高田市)、2日目にいのちをつなぐ伝承館(釜石市)、津波遺講たろう観光ホテル(宮古市)などに行きました。津波の映像を見たり、実際に津波で流された消防車など、被災の現場をとらえた写真、被災者の声、記録を見学しました。そして、どの場所にも「津波てんでんこ」という言葉があり、二度と東日本大震災の悲しみを繰り返さないために、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、乗り越えていくことが重要だと学びました。

今回の交流をきっかけに今後も親交を深められるよう来年以降は北海道開発局管内に赴いて実施する勉強会も検討していきたいです。

※津波てんでんことは「津波が来たら、いち早く各自てんでんばらばらに高台に逃げろ」という津波襲来時の避難に関する三陸地方の言い伝えである。



事務所職員と函館開発局職員